

3月に向けて

園の梅の花も満開となり、少しずつ春の足音が近づいてきました。いよいよ年度のまとめの月となりました。徐々にはありますがコロナも収束に向かってはいるようですが、ここにきてインフルエンザの感染者がいきなり増え、急遽つき組の学級閉鎖という状況で年長コンサートも延期せざるを得ず、驚きと戸惑う方も多かったことと思います。保護者の皆様には蔓延防止の観点から、ご家族の健康管理はもとより、不要不急の外出を控えることや、行事の変更や参加人数制限など、ご理解とご協力をお願いしながらここまで何とか保育を進めることができました。

これからの保育はコロナとインフルエンザの両方に対応した蔓延防止対策をしながら子ども達と共に準備をし、卒園、進級に向けての活動に取り組んでいきます。ご家庭でもご家族皆様の健康に留意され、今後の行事等に参加できますようご協力をお願いします。

さて、クラスや学年の活動から卒園、進級の雰囲気が出てくる中で子ども達は新しい環境への期待と不安とが交錯した複雑な気持ちでいます。お父さん、お母さんに甘えることも多くなるかもしれません。

今まで出来ていたことができないと言って意思表示することもあるでしょう。また、子ども同士のトラブルも多くなると思います。自分だけを見つめてほしいがゆえにマイナスの気持ちばかりを訴えることもあります。

こんな時だからこそ、お子さんとしっかり向き合って気持ちを受け止めていただきたいと思います。子ども達は、前に向く力はしっかりついています。

今は押し出すことよりも気持ちを受け止めることが、安心して前に進むことにつながります。一日いちにちを大切に、ゆったりとした気持ちで過ごせるよう配慮をお願いします。

そして、卒園式、修了式が心に残る素敵な会になりますよう願っています。

園長 兒玉國利



3月のお知らせ

☆1日（水） 半日保育

☆2日（木） 年中生活発表会

☆3日（金） ひな祭り会

ホールでひな祭りの話を聞き、ペープサートをみます。

☆7日（火） 半日保育 体験入園（R5年度新入園児）

☆8日（水） 年長懇談会・写真販売 作品持ち帰り

13:00～ 楽器クラブの演奏

13:15～ 写真販売

13:30～14:10 全体懇談会

★懇談会・教材配布・写真販売 作品持ち帰り

日にち	年中	9日（木）
	年少	10日（金）

時間	13:00～	写真販売
	13:10～	子どもたちによる学年の歌 年中『ありがとうの花』 年少『お日さまになりたい』
	13:20～13:50	学年懇談会

場所	2階ホール
----	-------

内容	今年度最後の保護者会です。進級教材を渡します。 進級に向けて・1年間のまとめ（園長より）・担任挨拶
----	--

持ち物	R5年度年間行事予定表（青空と一緒に配布済み） ※教材費は3月教育充実費と同時引き落としです。ご了承下さい。
-----	---

★今回の懇談会は、学年懇談会です。みなさんが書いてくださったアンケート（ご協力ありがとうございました）をクラス毎でまとめたものをお配りします。感想などを伝え合って交流が持てるといいですね。

☆15(火)・16日(水) 半日保育 (卒園式準備のため)

☆17日(金) 第52回卒園式 (年中少休園)

卒園児 9:15 登園 10:00 卒園式

父母会より卒園祝い菓子が配られます。(年中・少は、16日に配られます。)

☆22日(水) 半日保育

☆23日(木) 修了式

子ども達のみ参加します。

修了式後、年少組、年中組は来年度のクラスバッチを受け取り、道具箱を新クラスまで運びます。

☆4月6日(木) 令和5年度始業式 (半日保育)

登園時間 長 8:45~50 中 8:50~55

降園時間 長 11:35 中 11:30

持ち物 カバン、シール帳、タオル、手さげ、カラー帽子、
上履き、新教材、防災頭巾 (はな組のみ)

★3月の諸経費

R5年3月諸経費	年少	年中	年長
教育充実費	2,800	2,800	2,800
絵本代	440	880	880
月曜日給食代	1,050	1,050	700
進級教材代	2,280	1,620	
小計	6,570	6,350	4,380
2月預かり保育料	利用した方		
3月希望給食代	注文した回数×¥350		
つき組学級閉鎖 月曜給食返金	▲350		
合計	小計+利用分		

※年長組の3月の預かり保育料(春休み含む)は、確定次第、請求書をお渡ししますので、現金で職員室窓口にお支払いください。

★春休みの預かり保育（たんぽぽ）について

<u>お申し込み期間</u> 3/1～3/10 (代金口座引き落とし)	3月24・27・28・29・30・31日（計6日間） (卒園児も可ですが、仕事、急用の方のみ)
<u>お申し込み期間</u> 3/1～3/16 (代金口座引き落とし)	4月3・4・5日実施（計3日間） (仕事・急用の方のみ・卒園児不可)

※卒園児・お仕事等のため希望される場合、20日（月）22日（水）23日（木）については、午前からお預かりします。

ネットで申込後、必ず職員室に伝えてください。代金は職員室窓口でお支払い下さい。

※年中・年少はネット申込で代金は4月の諸経費で口座引き落としです。

※申し込み後の返金はできませんのでご了承ください。

★預かり保育（たんぽぽ）の料金改定のお知らせ

新学期（4/6～）より、下記料金に変更させていただきます。

- ・半日保育日：800円（11:30-17:00） 1,000円（11:30-18:30）
- ・夏/冬/春休み:半日800円（9:00-12:00/13:00-17:00） 1,600円（9:00-17:00）

※通常保育日および早朝、夕刻料金の変更はありません。

★預かり保育（たんぽぽ）の申込み方法の変更のお知らせ

新学期（4/6～）の利用分から、「れんらく」アプリでの申し込みとなります。操作方法を次ページに掲載しますので参考にして下さい。

申し込みは3/1から可能です。

※給食のお申し込みは、今まで通り変更はありません。

預かり保育申請機能 操作案内

申請は締切時間までに
お願い致します

1 日単位で預かり保育を申請する

※携帯サイトへアクセスするパケット通信料はご利用者様の負担となります。



- ① 携帯サイトの預かり保育をクリックします
- ② 申請したい日付を選択します

- ③ 申請したい預かりの名前を選択します
- ④ [預かりを申し込む] にチェックを入れ、連絡事項を入力して、[連絡する] をクリックすれば申請完了となります
※送迎バス利用の場合は、自動的に対象のバス不要の連絡も一緒に行われます

申請を取り消す

曜日指定して申請する

※パソコンサイトからはこの設定ができませんこと、予めご了承下さい。



- ① 既に申請を行った日付をクリックします
- ② 対象の預かり保育の[取消する] にチェックを入れて、[連絡する] をクリックすると、取消完了となります

- ① 預かり保育連絡画面内で下に移動して[一括申請(曜日ごとの申込)] から指定したい曜日を選択します
- ② 対象パターンを選択後、申し込む日にチェックを入れます。
- ③ 連絡事項を入力して、[連絡する] をクリックすれば申請完了となります。

※月毎の一括申請も可能です。

その他のお知らせ

☆制服注文 3/1（水）～3（金）

今年度最終です。次回は5月です。
お金を入れず、注文書（職員室まで）のみ提出してください。
代金は、品物を受け取り確認したうえ、現金を封筒に入れ、注文書兼請求書を
ホッチキスで止め、職員室窓口までお願いします。（PayPay 可）

☆月曜給食費の返金

年長 3学期の月曜欠席の方（8：45までに連絡のあった方）に15日に返金し
ます。受領のサインをしてください。

年中・年少 4月の諸経費で調整します。

☆園庭開放について

春休みの園庭開放は、3月の春休み期間（3/24～3/31）の
平日10：00～12：00に行います。
4月はありません。ご了承ください。

☆リサイクルのお願い （年長児の保護者の皆様へ）

卒園した後、もし、お使いにならないジャージ上下、長袖ポロシャツ、園
の短縄がありましたら、園にいただけませんか？子ども達への貸し出し用にし
ます。名前が付いたままで結構です。

☆園児活動写真のホームページ等への掲載についてのお知らせ

園児の日々の幼稚園での生活をより深くご理解いただくために、園児の活動
の様子（写真・動画）をうのもり幼稚園ホームページ、園掲示板、青空に掲載
していますが、来年度も園児活動写真を使用することについてご了承をお願い
いたします。

なお、使用について、遠慮したい等の要望がある場合は、各担任までお申し
出ください。

みんなのひ・ろ・ば

“みんなのひ・ろ・ば”のご協力ありがとうございました。（投稿順）
今年度も最後にたくさんの投稿をありがとうございました。知り得なかった
たくさんの裏話や思い出を読み、笑ったり、目頭が熱くなりました。本当に
ありがとうございました。

●「卒園をまえに」

Y組/Z衣織（瑛治）

私の母は幼稚園の先生で、長男が2歳のころから母にアドバイスされるま
ま、幼稚園探しを始めた。5園ほど園庭開放やプレの説明会に参加したが、ど
こもしっかりこない。母曰く、

- ①園バスのない園がいい。（バスだと登園、降園時間が子どもによって違
い、全体で活動する時間が短くなるから）
- ②小規模の園がいい。（先生たち全員が全員の子どものことを知っていて、
全員で見ってくれるのがいい）
- ③遊び中心の園がいい。（幼稚園は遊びを通していろいろ学ぶところ。お勉
強はまだ早い）

幼稚園は、子どもが会う初めての社会だから、よく選びなさいとのこと。
そんな園、ないよ～。とっていたが、ふと、うのもり幼稚園の看板を見か
けて調べてみたら、まさにそんな感じ！自分のしたい遊びができる自由時間
が多いのも理想的。園庭開放に来てみたら、ウサギや亀もいて気に入った。
そんなわけで、長男（今は四年生）とうのもり幼稚園に通い始めた。
ただし、遠い。16号沿いの神奈中バスを使って登園時間最短30分。バスの
待ち時間にも苦労した。長男のかばんは、ほかの子より太陽に当たる時間が
長かったせいかずいぶん色褪せた。

次男の瑛治とは雨の日以外は自転車で来ているが、私が必死でペダルをこぐ
後ろで、30分間暇らしく、「なんでこんなに遠いお家を選んだの？」と文句
を言われる。いや、お家が先にあったんだけどね。

それでも、うのもり幼稚園を選んで正解だったと思う。遠いのだって、季節
の花を愛で、夏の暑さにうだり、北風にこごえ、手をつないで歩いた貴重で
濃密な時間だった。

長男、次男、それぞれの3年間を通して、たくさん遊び、先生やお友達から
学び、嬉しいことも苦手なことも経験して成長した。小学校にうのもりのお
友達はいないけど、うのもりで育まれたパワーで、これからの人生を楽しん
でもらいたいと思う。先生方、保護者の皆様、ありがとうございました。

いよいよ長男の聖真と共に親である私も卒園の時です。振り返れば上のお姉ちゃんが年中で転園してきてから、翌年に弟の聖真が入園し、2人の子どもが4年にわたってこの『うのもり幼稚園』にお世話になりました。

子どもたちの成長ぶりを傍らで見ながら、この4年間での成長は著しかったと感じています。

うのもり幼稚園は、大人のエゴで何かを押し付けるのではなく、子どもの多種多様な考えを認めながら、のびのびと生活できるような環境であったからこそ、子どもが小さくまとまる事なく自由な発想で明るく成長してこれたのだと思います。親として私が子どもに幼稚園で学んでほしかったことをしっかりと学んでくれました。

子どもの発想を大切にすることは大人にとっては時に大きなストレスになることもあったかと思いますが、小方理事長先生や兒玉園長先生をはじめ、先生や職員の皆様、並びに子どもたちを暖かく見守ってくださった保護者の皆様には心から感謝申し上げます。

これからもこのご縁を大切にしていければと思っております。ありがとうございました。

「おはようございます。」

「Kさん、ちょっといいですか？」

「例の3月のあおぞら・・・卒園のKさんをお願いしてもいいですか？」

えっ!!!何だって!!私が書くのー!・・・心の中で絶叫した。

「提出までまだ10日間“くらい”あるのでよろしくお願いします。」

いやいや10日“しか”ですけど～(汗)(汗)

というある朝があり、今に至る。

折角の機会なので、8年前から始まった私の“うのもりライフ”をざっくりではあるが振り返ってみようと思う。普段書きなれない拙い文章なので片手間にでも読んでもらえれば幸いだ。

私には3匹の子ブタならぬ3人の息子がいる。

※長男（小6）…難病持ちだがマイペースに、日々一生懸命生きてる。
結構頑張り屋。

※次男（小3）…自由奔放の気分屋。恥ずかしがり屋でとってもナイーブ。

※三男（つき）…ひょうきん者だがメンタルに難あり。割としっかり者。

8年前。

右も左もわからぬまま園生活が始まった。長男は諸事情で年中からの入園。園には息子の諸々の事情は伝えてはいた。しかしながら人間関係含め園生活上手くやっていたらどうか。不安と心配しかなかった。

多くは望まずに人並みに。波風立てずに。平穩無事に。

私がしっかりしなきゃと妙に気を張っていたと思う。この頃はまだうのもり幼稚園を心の底から楽しめてはいなかったと思う。初めてということもあったと思うが、毎日目の前のことを機械的にひたすらこなす。時間的にも精神的にも楽しむ余裕がなかったのだ。

毎日毎日手のかかる長男と1歳の次男を連れて、後に三男も連れての登降園。家から近かったとはいえホントにホントに大変だった。よくやっていたと思う。偉い。誰も褒めてくれないから自分で褒める。ありがたいことに長男は行き渋りもなく、楽しい園生活を送れた。何より嬉しいことだ。だから私も頑張れたんだろう。園行事も先生方や周りの理解のおかげでほとんど参加できた。

年長秋の遠足。うのもり幼稚園にして良かったと改めて確信した行事のひとつだ。当時は小田急線で行く「権現山登山」。

私は長男の参加は流石に難しいだろうなと勝手に諦めていた。体力的なことはもちろんだが、単純に迷惑がかかる。どのタイミングかは忘れたが、欠席を伝えるつもりで園長先生と中島先生と話した。

「欠席！何言ってるんですか！大丈夫ですから。」「大丈夫！おんぶしてでも連れていく。」色んな言葉をいただいた。こんなに親身になってくれるんですかー！！お二人の「大丈夫」を信じてみよう・・・息子を信じてみよう。

—無事登頂—

登山から帰ってきた長男が遅しく見えた。達成感からか何なのかわからないが、明らかに顔つきが変わっていた。安心したし、諦めなくて良かった。信じて良かった。参加させて良かった。やっぱりうのもり幼稚園にして良かった。私の中で何かが変わった瞬間だった。

園長先生はじめ先生方の御協力御指導そして、無償の愛のおかげで紆余曲折ありながらも笑顔で無事卒園した。そんな長男も4月からは中学生になる。

5年前。

次男が入園。忘れもしない。まさかの入園前の右腕の骨折。マジか。骨折姿で入園式・・・笑うしかない。年少入園は初めてなので、また新たな3年間が始まるなあ。多分新鮮な気持ちでいたと思う。次男は入園してすぐに波長が合う友だちもでき、毎日これでもかと全力で遊び倒していた。当時担任の陽子先生からも、「お友だちと楽しく遊んでますよ。KくんとRくんとは入園前から仲良しでしたか〜？」ってびっくりした。初めましてだったのに、もうそんなに仲良いんだ。へえ〜楽しくやっぴゃん。実際3人で楽しそうに遊んでいた。しかも園庭の隅っこで。次男も行き渋りはなく、毎日楽しく通う姿が嬉しかった。よく長男の下校と降園時間が重なって忙しかったが充実していた。お友だちと園外でも今より気楽にお出かけしたりと次男の3年間もとっても楽しくてあつという間だった。卒園も何事もなく無事にできると思って何の疑いもなかった。得体の知れない“あいつ”がくるまでは・・・。そして“あいつ”はやってきた。

緊急事態宣言。卒園間際の突然の休園。

卒園式は規模縮小で開催して頂けて卒園できたが、私としては何だろう。正直後味が悪かった。不完全燃焼感が半端なかった。言ったところでどうしようもないのはわかっていたが、悔しかった。それでも長男同様たくさんの愛情を頂いた。泣いたり笑ったりのびのびと遊び尽くして心身共に色んな経験をして卒園したことは何よりだった。

3年前。

三男が入園。長丁場だと思っていた園生活もラスト3年か・・・流石に新鮮味はなかった。(笑)相変わらずややこしいウィルスの影響で延期された入園式。まさかまさかの6月入園。しかも入園式当日は寒くて大雨。親子でテンションだだ下がり(笑)これからマスク着用の徹底的な感染予防対策をしての園生活。色んな意味でこれから大丈夫かな？どんな園生活になるんだろう？楽しめるかな？そう思っていたのはきっと私だけじゃないはず。少なからず先生方も不安はあったと思う。しかしながら、いざ園生活が始まると先生方は流石プロ。その時できることで子どもたちを楽しませてくれる。任せておけば大丈夫だ。

頭が下がりました。

そんな中、三男はまさかの登園拒否発動。そんなに長くは続かなかったと思うが。あれ？幼稚園楽しみにしていたはずだよね？上二人は全くなかったからまァびっくり。お腹にいた時から通っていたのに、何で行きたくないんだろう？何がダメなんだろう？通り過ぎてもう飽きた？色々考えた。

今日もダメ？また？マジか？と心で叫び、毎日手を変え品を変えてなんとか登園させる。気づけばいつの間にか振り返りもせず堂々と登園するようになった。あれは結局何だったんだろうか。

園行事は以前のように行えず中止。出来ても制限付き。致し方ない。やり場のない思いが溢れる。しょうがない。しょうがない。耐えるしかない。出来ることを一生懸命楽しもう・・・。

無情にも月日だけが過ぎていき、あっという間に年長になってしまった。年長になった4月からはあれもこれももう最後なんだ。私の中で卒園へのカウントダウンが始まっていた。最後の3年間はコロナに翻弄されて始まり、コロナと共に卒園を迎えるだろう。

うのもり幼稚園の8年間は色々あったがあっという間だった。楽しい時程時間の経過は早いものだ。それだけこの8年間で有意義だった。うのもり幼稚園は息子たちだけでなく、私にとっても大切な場所になったんだなあと感じている。間もなく当たり前だった日常が終わる。

8年間の送り迎え。お弁当作り。8年間着続けた制服の洗濯。

あと何回するんだろうか・・・寂しいものだ。何だか泣けてくる。残りのうのもり幼稚園での時間を大切にしよう。これを書いていて改めて思った。

最後はありきたりな言葉だが、8年間これでもかというくらいお世話になりました。

うのもり幼稚園ありがとう。



T組/K沙織（しずく）

小5のひなた、小3の琉ノ介、しずくと8年間お世話になりました。

ついに8年間の幼稚園生活が終わってしまう。。

あの頃は8年も通うのかー！長いなー、私何歳になるんだろう、、、なんて思っていたのに。。

長女のひなたは小さい頃からよく喋る活発な子でした。（1、2歳頃はベビーカーに乗りながらハトポッポの歌をロック調で歌っていた）

幼稚園から帰ってくると、その日の出来事を最初から最後までずっと喋っている。口がとまらない。我が家の情報はすべて先生に筒抜けでした。笑
幼稚園児ってこんなに喋るんだ、こんな感じなのかーと置いていたけれど、琉ノ介が入園するとその概念が覆されることに。

今日何して遊んだの？と聞いても、「分かんない！忘れたー」
昨日の事を明日と言う。やっとな話したと思ったらとびとびで何の話をしてるのかさっぱり分からない、、、
そんな時はひなたの出番。「今日は琉ノ介〇〇して遊んでたよー！」弟をよく見ている。でも弁当事情まで知っていたのには驚いた。なんで知ってるんだろう。。

進級し、だんだん話分かるように。確か年長の頃。昔からミニトマトが嫌いな琉ノ介。

普通のトマトは少し食べれたのでこっちも頑張ってみなよ～と言うと、「ママ！みすず先生がトマト食べれなくても生きていけるから大丈夫！って言ってたよ！だから食べなくてもいいんだよ！！」と目をキラキラさせて嬉しそうに話してきた。

みすず先生がトマト苦手な事は知っていたので思わず爆笑。

嘘のない正直な先生が私は大好きです。（バラしてごめんなさい）

時は少し戻り、ひなたが年中の時にお腹にいたしづくですが、切迫早産の為入院。

3ヶ月弱の長期入院となってしまう、心が折れかけていたけれど、ママ友が当時未就園の琉ノ介を連れてお見舞いに来てくれたり、当時担任をしてくれていたみすず先生からお手紙を頂いたり。孤独な入院生活の中とても嬉しかったのを覚えています。

無事に生まれ、しづくは3番目らしくめきめき成長。裸足大好き。どこでもダッシュ。本当にすばしっこく、スタートダッシュが猛烈に速い。一瞬でも見逃すと追いつけないほど成長し、いつも追いかけて回す日々に。

琉ノ介が卒園の頃は、丁度コロナが流行り始めた年。何も分からぬまま色々な事が国から制限されましたが、なんとか卒園式は出来てホッとしたのも束の間。。

今度はしづくが入園！！と思いきや入園式が出来ない。。

6月にやっとな入園式が出来ました。コロナ禍のため、縮小された入園式。式が

終わり帰ろうとすると、めちゃくちゃ1人ぐずっているしずく。

「まだ遊びたいー！！」と大泣き。

普通は行きたくない〜！って泣くもんじゃないの、、、？とビックリする私。

結局30分近く泣き喚き、最後まで靴を履いてくれず、無理矢理抱っこで帰宅。雨だったためヒールで傘をさし抱っこ、、、ある意味忘れられない入園式となりました。

しずくはひなたのように幼稚園の出来事を話してくれるかな？と少し期待していた私。ですが蓋を開けてみたらしずくも喋らない。聞いても「忘れたー！分かんない！」、、、まじか。

そんなしずくも年長になり、日々の出来事を話してくれるように。お友達と遊んで楽しかったこと、喧嘩したけど本当は仲直りしたい事、沢山話してくれました。幼稚園で過ごす中でたくさん成長していました。

そして先生方には本当にお世話になりました。

特にしずくから目が離せない時期。何でも口に入れてしまったり触ってしまうため、上の子達が家で粘土をやりたい！絵の具やりたい！と言っても、中々思う存分やらせてあげられない日々。でもやらせないのも親としてどうなのか。先生に相談すると、「幼稚園でたくさんやるから家でやらなくたって大丈夫だよ！！」と言ってくれました。すごく悩んで自己嫌悪に陥っていたけれど、手先を使う遊びは園でやらせて貰っているから無理に家でやらなくてもいいんだ！といい意味で開き直る事が出来ました。

上の子達が小学生になり色々悩んだ時も、1番に浮かぶのはうのもり幼稚園の先生達。それくらい私にとっては絶大な信頼がある先生達です。

うのもり幼稚園に決めて本当に良かった。なんなら私も通いたかった。親子共に楽しく充実した8年間でした。本当に有難うございました。

うのもり幼稚園には中3の央夢、小5の茉紘、そして年長の啓楓と3人お世話になりました。

央夢は友達と喧嘩になる事も多く、ハラハラドキドキの園生活でした。一人目なのもあったのか細かい事まで気になり今となってはもう少し大らかな気持ちで接してあげても良かったのかも、と少々反省しています。

茉紘はどちらかというと大人しいイメージでしたが、年中時には雲梯に没頭しマメが潰れても続け、担任の先生に止められたり、年長のキャンプでは火の精に立候補したりと意欲的な一面も発見出来ました。

啓楓は年中時ブランコが漕げず休日に家族で練習しましたが上手くならず、「あれ?ブランコって教えるものだった?兄姉は教えずに出来た気がする。」と、つい比較してしまったりしました。が、年長になってすぐ、ふと気づくと上手に漕げており本人に聞くと「陽子先生が教えてくれたら一回で出来た!パパとママの教え方が悪かったんだよ」と言われ、喜びつつもあんなに練習したのにと悲しくなり…。

9年間お世話になった私の忘れられない思い出は、茉紘の年長プレイタイムです。主人が休みを取り啓楓(1歳前)を見ているはずが、天候不良で日程変更となり啓楓を連れて行かなくてはいけなくなった時の事です。中島先生や倉科先生が職員室で啓楓を見て下さったのですが「啓楓ちゃんアレルギーある?柿大きく切ってしゃぶらせて良い?」と聞かれました。プレイタイム終了後職員室に迎えに行くと抱っこしてもらいご機嫌で大きな柿をしゃぶっている啓楓がいました。

どの思い出も久家家の宝物です。ありがとうございます。

●～うのもり愛に支えられて～

T組/S 聖子 (唄)

ついに私も今度こそ娘と共にうのもり幼稚園卒園です。長男が入園したのが今から14年前。その2年後に次男が入園。そんな兄たちからしばらく空いて、再びうのもり幼稚園に戻ってきました。春から兄たちは高3と高1。

“唄はこれからまだ小学校が6年も続くのか・・・”と果てしなく長〜く感じるけど、兄たちを振り返ると本当にあっという間に高校生になってしまいました。(もう来年は大学受験じゃんっ!)

うのもり幼稚園と出逢ってから、私の子育てはいつも「うのもり愛」に支えられてきました。親族も近くにいない。旦那は朝早く夜も遅い。

ワンオペ育児の毎日にまだ20代だった私は子育てに一人必死でした。しかし、長男が幼稚園に入ってから、私にも居場所とたくさんのママ友ができました。長男のママ友、次男のママ友、唄のママ友。

ひとり子育てに悩んだり、淋しくなった時、幼稚園へ行けばおしゃべりのできる先生やママ友がいる。これがどんなに心強かったか……。

今でもそのつながりは私を支えてくれています。

今となれば「ベテラン母さん」の貫禄も醸し出してるかもしれないけど、私自身も母親としてうのもり幼稚園に育ててもらった気がします。

唄が年長になった最初の懇談会で美涼先生が言ってました。「私はとことん遊ばせます。今は小4くらいから学習塾へ行くようになってきて、イヤでも勉強しなくてはならなくなる。だからこそ今は思いきり遊ばせたい」と。もう立ち上がって拍手を送りたかった。本当にその通り！！3人目にしようやくこの大切さを実感していた私にはその言葉が嬉しくて仕方なかったのです。

兄たちを含め、その友人たちを見ても、うのもりの子どもたちは大きくなってみんな素直で優しい。（これ、ホント不思議なくらい）これって小さい頃に人間の基礎みたいな部分をしっかり形成できたからなんだろうなって思います。

認めてもらうこと、共感してもらえること、とことん納得するまでやり続けること、できるようになった喜びを感じることを、挑戦してみようとする力、自信。そして遊びの中でのお友だちとの付き合い方、思いやりの気持ちなどなど。これらが今後必ず自分の大きな力になる。これをしっかり身につけてくれるのが、うのもり幼稚園なんだと思います。

そして、自然の恵みのありがたさも畑や田んぼ、泥だんごやクッキング、たくあん作りなどを通じて沢山教えてもらいました。

毎日の送迎があるからこそ、子どもの様子を知り、幼稚園やママ友たちとのつながりを深め、子どもに共感することができました。

コロナ禍でもできることを、できる形でたくさん経験させてもらいました。本当にうのもり幼稚園と出逢えて良かったです。

長くなりましたが、最後に一言！！

『私の子育て、うのもり幼稚園と出逢ってから14年間ずーずーずーずーっと楽しかったです！』

ありがとうございました。

S 咲・吟・唄の母より

ついにこの日がやってきてしまった。青空3月号へ投稿する日が！
毎年卒園児の母が綴るエピソードを読んでボロ泣きしていて、私も卒園前に拙い文章だが投稿したいと思っていた。
さて何書こう…子どもの成長？子どもの感動エピソード、、、え？？？ヤダ！思い浮かばない！我が子のエピソードが出てこない！

なので自分のことを書くことにします(笑)

私は2月入ったあたりから常に胸がざわざわする感じと急にウルツとくる、卒園したくない病を発症。通い慣れた道も、もうすぐ通らなくなると思うと自転車漕ぎながらウルツ、その後ろで娘は卒園ソングを歌うという追い打ち！今それ歌わないで！！とキレる私。思い出の会で披露する年長ママの合唱の練習でウルツというか堪えきれず泣きながら歌い、泣くの早いよ！とツッコミを受ける。

なんでこんなに卒園が寂しいのか…

そうか、私この3年間思幼稚園生活を思いっ切り楽しんだー！！

年少の時にやらせて頂いた本部活動、その後もミニまつりのお手伝いやサークル、思い出の会などで、たくさんのママ達と一緒に何かを作り上げるという経験は、一生の思い出になりました。コロナ禍ということもあり先生方、皆様のご理解とご協力がなければ出来なかったことです。

優しくて多才で魅力と個性溢れるママたちのいる『うのもり幼稚園』最高でした！本っ当に離れがたいです(泣)

17日まで卒園したくない病は治らないので突然ウルウルしてたら笑ってください〜い♪

ぶかぶかのせいふくと ぴかぴかのきいろいかばん
どきどき ちいさなむねが おとをたててた

はじめてのことばかり まちがったりあわてても
あったかいえがおをくれた せんせい ともだち

こんなにおおきくなったよ ないたりわらったりしながら
にがてなこともふしぎ みんなとなら がんばれた
ぴちぴちのたいそうぎ ぼろぼろのてさげかばん
おもいきり かけぬけてきた だいじなあかし

もうすこし いっしょにいたい だけど もういかなくちゃ
“さよなら” じゃなくてまたね きっと わすれない

こんなにおおきくなったよ つよくなれた ようちえんで
すばらしいおもいでと ともに ぼくら たびだつよ

～中略～

みんなみんな ありがとう
こんなにおおきくなったよ これからもずっと みていてね
たからもの たずさえて さくら さけば いちねんせい

入倉都さん作詞作曲の“おおきくなったよ”という卒園ソングの歌詞です。

子どもたちをあたたく見守り、小学校へと送り出してくださる先生方。出会ってくれたお友だちや保護者の方々。みんな みんなありがとう。一度しかない3年間をうのもり幼稚園で過ごせて、歌詞どおり感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

♪ みんなだいすき らんらんらん ららん
たのしい うのもりようちえん ♪

うのもり幼稚園の誰もが知っている、園歌の一節です。長男の怜(れい)が入園して、この歌を始めて聞いた時、この真っすぐな歌詞に感動し、聞くたびに泣けてきてしまう…そして、今の私の気持ちをそのまま表わしています。

怜が入園した時にはまだ赤ちゃんで、抱っこやおんぶで一緒に送り迎えをしていた次男の壮(そう)が卒園を迎えようとしています。この6年間を振り返ると『あつという間』という言葉しか思い浮かびません。

特に、怜が年長になる直前に仕事を再開してからは怒涛のように毎日が過ぎていった…そんな印象です。週にたった二日だけの仕事ですが、何年もブランクがあった私にとっては慣れるまでにも一苦勞でした。朝、子どもたちに支度させて時間通りに出発するだけでヘトヘト…久しぶりの電車通勤に毎回緊張してドキドキ…一人で街を歩くだけでも子どもを連れていないことに違和感がありソワソワ…

壮は朝に弱く、機嫌が悪いことが多かったため、元気に登園できない日がほとんどでした。仕事の日、グズる子ども×時間に焦り次第に言葉がきつくなる母…良い結果になるわけもなく、結局壮を急かして強引に出発する日ばかり。気持ちよく家を出られなかったことが申し訳なく、自転車に乗りながらあれこれと声を掛けますが、こちらの思うようにご機嫌は治ってくれません。こうなると、母にできることは幼稚園に向かってひたすら自転車を漕ぐのみ！

幼稚園に着きさえすれば一安心。多少機嫌が悪かろうが何だろうが、先生方が何とかしてくれる！たんぽぽでもたっぷり遊んで満足して帰ってくる！そんな安心感に支えられ、仕事に向かって行けました。

まだまだ時間があると思っていた卒園が、もう間近…親子ともにうのもり幼稚園に支えられた6年が終わります。どろんこのポロシャツとも、靴からザーザー出てくる砂ともお別れ。ウタマロ石鹸の減りは確実に少なくなるでしょう。嬉しい、けれどとてもとても寂しい。今の私は『みんなだいすき』な気持ちでいっぱいです。